

細胞培養

動物実験

創薬
スクリーニング

受託解析サービス

基本的
解析全般

論文
再現実験

セルプロジャパン株式会社



セルプロジャパン株式会社とは

セルプロジャパン株式会社は細胞治療および幹細胞から分泌される生理活性物質の社会実装を目指す会社です。幹細胞研究による科学的根拠の蓄積を通じて、再生医療の発展を目指しています。また動物実験および培養細胞を用いた豊富な実験経験を活かして、幅広い受託サービスをご提供いたします。

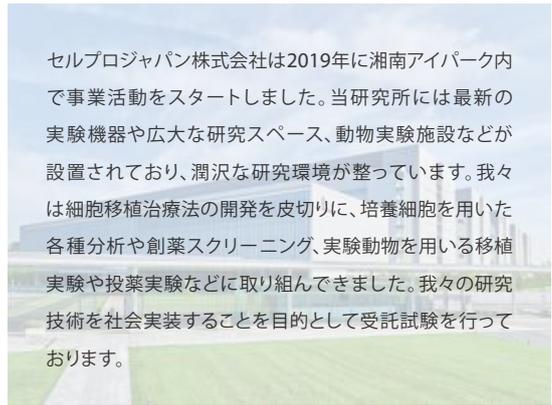


代表プロフィール
セルプロジャパン株式会社
代表取締役 佐々 文平(さまた ぶんぺい)

経歴
2012年 京都大学医科学専攻修士課程 修了
2017年 京都大学医科学専攻博士課程 修了
2019年 京都大学iPS細胞研究所 研究員(現在)
2019年 セルプロジャパン株式会社 代表取締役(現在)

業績
2014年 日本学術振興会特別研究員
2017年 日本再生医療学会奨励賞 受賞
2021年 日本再生医療学会臨床培養士 合格

主要論文
Samata B et al., Front Cell Neurosci (2020)
Samata B et al., Nat Commun (2016)
Samata B et al., J Neurosci Methods (2015)



セルプロジャパン株式会社は2019年に湘南アイパーク内で事業活動をスタートしました。当研究所には最新の実験機器や広大な研究スペース、動物実験施設などが設置されており、潤沢な研究環境が整っています。我々は細胞移植治療法の開発を皮切りに、培養細胞を用いた各種分析や創薬スクリーニング、実験動物を用いる移植実験や投薬実験などに取り組んできました。我々の研究技術を社会実装することを目的として受託試験を行っております。

Point 1

国内拠点での徹底した管理



すべての受託試験を日本国内で行います。倫理審査委員会の承認の上、適切な手法で実験を行います。

Point 2

豊富なラインナップ



実施可能な培養実験や動物実験は多岐に渡ります。お客様のご要望に合わせて最適な実験プランをご提供させていただきます。

Point 3

迅速な対応



お問い合わせに対するご回答や受託試験の実施を迅速に実施させていただきます。試験結果は報告書として納品いたします。

Point 4

実績に基づく安心感



これまでに数々の試験を手がけてきた経験から、高いクオリティでの受託試験をお約束させていただきます。

Point 5

細胞培養の専門家による評価



細胞培養のプロフェッショナルが実験を行います。初代細胞から幹細胞など様々な目的に応じて対応することが可能です。

Point 6

動物実験の専門家による評価



動物実験のプロフェッショナルが実験を行います。実験の際は3Rの基本理念に則り研究計画の立案から実施までをサポートいたします。

Point 7

低コストでのご提供



すべての受託試験を低コストで請け負います。熟練研究者の採用や潤沢な研究設備を自社管理することで理想の価格をご提供させていただきます。

Point 8

その他



お客様でご用意していただく検体の評価も請け負っております。様々なオプションをご提案可能ですので、まずは気軽にお問い合わせください。

Point 9

トラブルシューティング対応



お問い合わせから受託試験完了までに生じる問題については、専門知識をもったスタッフによって適切に対応させていただきます。

動物実験について

動物実験の現状

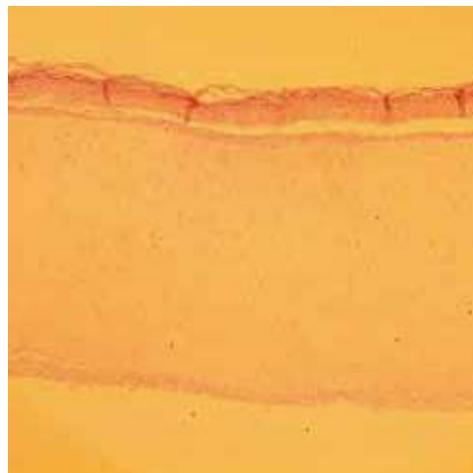
近年、動物実験は動物愛護および倫理面への配慮から実施数が減少傾向にあります。欧州連合（EU）においては、同域内において動物実験を実施したすべての化粧品原料の販売を禁止しています。この流れは化粧品だけに限らず、化学物質や医薬品、医療機器などにも広がっています。その他に、インドやイスラエル、台湾などの国についても動物実験禁止の取り組みが進められています。従来、動物を利用した皮膚刺激性試験等により化粧品の安全性を評価していましたが、現在では代替法に切り替えるケースが多くなっています。一方で、生体内の複雑な構造のすべてを代替法に置き換えることには限界があり、動物実験が医学研究等の発展に貢献してきた側面もあります。このように動物実験は多大なる恩恵をもたらしてくれるものの、その必要性については3Rの原則を基に慎重な検討が必要とされています。

3R の 基本理念

- 1 Reduction —— 実験に使用する動物の数を減らす
- 2 Replacement —— 可能な限り実験動物を用いない手法を検討する
- 3 Refinement —— 人道的手法で実験を実施できるよう手技を洗練する

代替法について

従来の動物実験の代替法として様々な解析手法が検討されています。例えば、化粧品開発における皮膚一次刺激性試験では、三次元培養皮膚モデルにおけるin vitro試験がガイドライン（OECDテスト）化されています。皮膚モデルを用いる利点は、検体を塗布することによって経皮吸収等の評価が実施できることです。その他にも独自の方法でin vitro試験による安全性・有用性評価を検討することができます。



<培養した三次元培養皮膚モデル>

※OECDテストガイドライン：化学物質やその混合物の安全性を評価するための国際的に合意された試験方法を集めたもの。

取扱い細胞種・動物について

解析に使用できる細胞及び動物の種類の一例を記載しています。他製品もお取り扱い可能ですので、まずは気軽にお問い合わせください。

培養細胞



MEF細胞

マウス胎仔由来細胞

マウス心筋細胞

マウス線維芽細胞

マウス神経細胞

マウス星状膠細胞

マウス間葉系幹細胞

マウスES細胞

マウスiPS細胞

HEK293細胞

ヒト内皮細胞

ヒト上皮細胞

ヒト表皮角化細胞

ヒト心筋細胞

ヒト線維芽細胞

ヒト間葉系幹細胞

ヒトES細胞

ヒトiPS細胞

実験動物



アウトブレッドマウス

インブレッドマウス

ハイブリッドマウス

ヌードマウス

遺伝子組換えマウス

各種疾患モデルマウス

アウトブレッドラット

インブレッドラット

各種疾患モデルラット

受託試験の流れ

STEP1



ヒアリング

どのような試験を希望されているのか、ご希望予算などを考慮して、専門知識を有するスタッフがお客様の抱える問題解決策を検討します。

※ 使用動物種はマウスまたはラットとなります。

STEP2



企画書・見積書の作成

ヒアリング内容を踏まえて研究内容や実験スケール、納期などを含む企画書を立案いたします。この時点で見積書も作成させていただきます。

※ お客様からご提出していただいた試験内容をそのまま実施することも可能です。
※ 試験開始後に解析項目を追加することも可能です(要追加費用)。

STEP3



試験の実施

企画書の内容にしたがって試験を実施します。

※ 試験内容に応じて途中経過をご報告させていただきます。

STEP4



解析

試験後の検体を用いて各種解析を実施します。解析内容は標本作製から免疫組織染色や遺伝子解析、タンパク質検出など様々な評価に対応可能です。

STEP5



報告書の提出

試験方法、結果、考察などをまとめて報告書として提出します。

試験実績

CASE 1

試験名 酸化ストレス誘導条件下における被検物質投与後のターゲットタンパク質の細胞内動態の確認

依頼元 化学メーカー

試験概要 指定のヒト体細胞に対し、酸化ストレス暴露条件下における被検物質の投与によるターゲットタンパク質の細胞内動態をウエスタンブロッティング法を用いて評価した。

実施期間 2ヵ月

提出物 試験報告書、電子データ、画像データ

CASE 2

試験名 間葉系幹細胞の表面抗原マーカーの特定

依頼元 化学メーカー

試験概要 依頼元から提供された間葉系幹細胞の表面抗原タンパク質の発現を、フローサイトメーターを用いて評価した。

実施期間 2ヵ月

提出物 試験報告書、電子データ

CASE 3

試験名 ヒト三次元組織モデルに対する被検物質投与後の機能評価

依頼元 創薬メーカー

試験概要 指定のヒト三次元組織モデルに対して被検物質の投与後、ターゲット遺伝子およびタンパク質の発現をリアルタイムPCR法と免疫染色法によって評価した。

実施期間 3ヵ月

提出物 試験報告書、電子データ、画像データ

CASE 4

試験名 被検物質投与後の特定の酵素の阻害作用の確認

依頼元 化学メーカー

試験概要 指定のヒト体細胞に対して被検物質の投与によるターゲット酵素の阻害作用を吸光度測定によって評価した。

実施期間 2ヵ月

提出物 試験報告書、電子データ

CASE 5

試験名 創薬スクリーニング

依頼元 創薬メーカー

試験概要 指定のヒト体細胞に対して、被検物質の細胞毒性及びターゲット遺伝子の発現を評価する事により候補の絞り込みを行なった。

実施期間 3ヵ月

提出物 試験報告書、電子データ

CASE 6

試験名 疾患モデルマウスに対する被検物質投与後の治療効果の評価

依頼元 創薬メーカー

試験概要 指定の疾患モデルマウスに対し、被検物質の投与による治療効果を評価した。

実施期間 3ヵ月

提出物 試験報告書、電子データ

よくある質問事項

Q1 in vitro試験ではどのような解析ができますか？

A1

細胞試験、分子生物学試験を実施することができます。主な解析内容としては、フローサイトメトリー、ウエスタンブロッティング、リアルタイムPCR、免疫組織染色、ELISA、各種吸光度計を用いた評価系に対応しています。また、それ以外の解析系でもご相談可能です。

Q2

iPS細胞を用いた試験は可能ですか？

A2

iPS細胞、iPS細胞由来各種分化細胞などを用いた細胞試験(安全性評価、薬理作用の確認)が可能です。iPS細胞から特定の細胞へ分化する場合は、分化プルトコールのライセンスに関して確認が必要となるため個別にご相談させていただきます。

Q3

in vivo試験ではどのような解析ができますか？

A3

マウスやラットを用いる疾患モデル作製から、薬剤投与試験(経口摂取、塗布試験など)の試験内容で評価することができます。その他にも移植実験など、お客様のご要望に応じて解析の可否を検討させていただきます。

Q4

提供した試薬や機器で実験をすることは可能ですか？

A4

解析したい被検物質としての試薬提供は可能です。また、ご提供いただいた培養液や試薬キットを用いて解析を行うことは可能ですが、ご提供いただいた試薬の品質による測定不良の責任は負いかねます。機器の持ち込みに関しては故障時の責任を負いかねますので、原則お断りさせていただきます。

Q5

どんな試験で評価をしたらいいのか分からないのですが、サポートしていただくことは可能ですか？

A5

可能です。専門知識をもったスタッフがお客様とのヒアリングを通して目的やご予算に応じて最適な評価系の企画をさせていただきます。

Q6

試験データの知財の取り扱いはどのようになっていますか？

A6

実験結果から得られた知的財産は原則全てお客様に帰属されます。秘密保持契約や試験委託契約を締結することも可能です。

Q7

どのような流れで依頼をすればいいですか？

A7

最初は秘密保持契約がない状態でご開示いただける範囲でご要望をお聞かせいただき、解析の目的、ご予算、ご指定がございましたら、ご希望の評価系についてお伺いし、見積、納期について回答させていただきます。

お問い合わせ・ご注文方法

下記内容をご記載の上、

order@cellprojapan.com までメールをお送りください。
お問い合わせ時点で情報が未確定の場合でも構いません。

試験概要	お問い合わせ時点で決まっている範囲で構いませんので試験の目的や概要をご記載ください。
試験の種類	in vitro試験またはin vivo試験のいずれかをご記載ください。
試験対象	細胞または動物の種類をご記載ください。
試験物質	試験に使用する化合物の情報を記載ください。 ※化合物が感染性または危険物質である場合はその旨をご記載ください。
準備状況	お客様の方で準備していただけるものをご記載ください。
試験日	ご希望の試験開始日をご記載ください。 ※準備状況によってはご期待に沿えない場合があることをご了承ください。
納品	ヤマト運輸、レターパックなど
支払方法	案件毎に個別でご相談させていただきます。



お問い合わせ先

セルプロジャパン株式会社

〒251-0012 神奈川県藤沢市村岡東 2-26-1 湘南アイパーク内

TEL : 0466-27-4134

E-mail : order@cellprojapan.com